

“荒木部長の”  
～ やってみて！ワンポイントアドバイス！！～



ハレ美も興味津々♡

第1回目『試合が始まる前の手順（プロトコール）』について

審判をやる上で、質問があったことや、うろ覚えなので教えてほしいと言われたことをピックアップ。初回は「試合が始まる前の手順（プロトコール）」についてです。

審判講習会では、試合開始以降の試合中の講習が主なので、いざ試合で主審、副審をやろうとするとういう順番で進行すればよいか迷うという声がありました。

2023年度ルールブックのP79に掲載されていますが、ルールブックをお持ちでない方もいらっしゃると思うので、一度確認してみてください。この内容は江東区内の運用になりますので、区外ではその大会の運用に従ってください。

※下記の手順の「a」～「k」に言葉を入れてみよう！

回答は最終ページ最下段にあります。



審判部長 荒木 寛子

手 順

注 意 す る こ と

※プロトコール前 主審は副審と共に審判台の高さの確認や、ネットの高さ、ボールなど用具の確認

- ① 監督のサインを採録 記録用紙の登録選手を確認してもらってからサインをもらう
- ② チームキャプテンのサインを採録 ユニフォームの「a」を確認  
記録用紙の登録選手を確認してもらってからサインをもらう
- ③ トスを行う 「主審です」「副審です」と名乗る。コインを示し、トスを行う  
トスに勝ったキャプテンは「b」「c」「d」の3つから権利を選ぶ  
※単に「サーブ（にします）」というのではなく、サーブを「打つ」「受ける」まで言ってもらう
- ④ 公式練習 「b」権利を選んだチームから公式練習を始める。  
開始の笛—主審、交替の笛—「e」、終了の笛—主審  
※合同練習の場合は、開始と終了の笛は主審
- ⑤ 公式練習中（6分間） ・主審と副審は協力して、選手のユニフォームの確認をする  
→ハーフパンツ、ソックス、サポーターなど

打ち合わせ

- ・主審と線審の打ち合わせ。  
→担当ライン、担当コート、ワンタッチ、アンテナ外通過、判定時のアイコンタクトなど
- ※線審は担当ラインが決まってもすぐに担当場所に行かないで主審と打ち合わせをする
- ・主審と点示担当者の打ち合わせ  
→判定のシグナルを見て点数を入れる

最初の表示は「00-00」ではなく「0-0」

#### 登録選手の確認

副審は「f」の選手と記録用紙に記載した選手を照合  
また、「f」で、記載されている背番号の選手がいるか公式練習中に確認する  
記録員は「g」で、登録されている選手がいるか公式練習中に確認する

#### ⑥ 試合開始前

選手がエンドラインに並び終わるタイミングで、主審・副審は審判台前に立つ  
主審は「h」コート側、副審は「i」コート側に位置し、主審が挨拶の吹笛をする

#### サーブ順の確認

副審と記録員は別々にサーブ順の確認をする。

例：「A チームから確認します」と言って、副審は記録員から離れてオーダー票で確認 → 記録員は記録用紙に記入したサーブ順を見て確認 → 合っていることをアイコンタクトなどで確認したら「次、B チーム確認します」と言って各々確認する → アイコンタクトなどで合っていることを確認したら、副審はオーダー票をズボンのポケットにしまう

#### OKの合図

選手がコート上で試合を開始できる状況（記録用紙の準備ができていること）を確認して記録員は→「j」へ両手をあげる



コート内の選手が試合開始の準備ができ、ベンチ前やプレーの妨げになる場所に飲み物やボールケースなどが置かれていないかなどの確認をしたら、副審は→「k」に向けて両手をあげる



主審は吹笛し選手をコートに入れる



“広報部 バレ田の”

#### ★プチケア情報★

寒くなってきた今日この頃、練習後や試合後、また普段から皆さんがどんな身体のケアをしているのか気になりませんか？簡単なケア方法を少しずつ紹介していこうと思います。

初回は免疫力を上げるといわれる指先のケアについて。写真のように爪の両端を程よい力でギュッと圧迫します。※力の入れ過ぎに注意！親指から小指まで繰り返します。

いつでも何処でも簡単にできるので、良かったらお試しください。



#### <荒木部長のやってみて！ワンポイントアドバイス！の回答>

a→キャプテンマーク    b→サーブを打つ    c→サーブをレシーブする    d→コートを選ぶ  
e→副審    f→登録用紙    g→記録用紙    h→A    i→B    j→副審    k→主審